

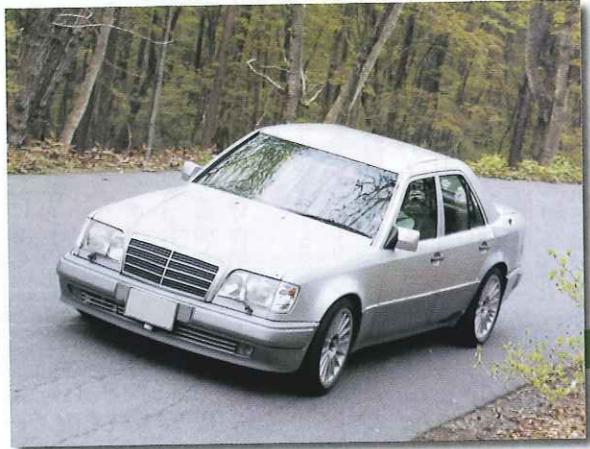


第13回

# Welcome to 500E CLUB

# 500E俱楽部

## 熱血的 W124 愛好家の広場



日本だけでなく、世界中で 500E 病が蔓延中！ 米国のオーナーズクラブ「500Ecstasy」から直送の、オーナー垂涎の逸品と最終段階となったオールペン作業の解説、ラリー、ジムカーナ業界で話題沸騰のボロン塗化コートなど山盛り紹介！

文・撮影=ニイベサトシ 協力=スピードジャパン／500Ecstasy／サバイブ／BASF コーティングスジャパン  
タイトル写真=オキスタジオ 東亜システムクリエイト／カーステーション・マルシェ

### 今月のメニュー

- ASRカットスイッチ ■ボディ塗装
- 塗化ボロンコーティング

#### 米国 500E 俱楽部 メンバーからのお土産

去る11月初旬に米国ラスベガスで開催された世界最大のアフターマーケットパーション、「SEMA SHOW 2006」に行った際に、米国

の 500E 俱楽部「500Ecstasy」のメンバーと一緒にテイングすること

ができた。米国を中心として全世界で総勢 1,600 名を超える同クラブには、様々なメンバーがあり、クラブ内でのオリジナル部品の開発をはじめ、二口噴射キットまでも作成していることでも有名である。

今回は、御土産として調達してきたのは、ABS カットオフスイッチ、キヤンバー調整式アッパー・マウント、1速スタートモジュールの3点。

まずは ASR カットオフスイッチ。御存知の通り、500E に装着されている横滑り防止装置の ASR は、車輪の回転差を感じてアクセルの開度、エンジン出力を制御するというもの。大出力の FR 車両を安全に運転するためにメーカーが装備したものであるが、サーキット等の限界域やドリフト走行では邪魔になる厄介な装置。これをボタン操作だけで簡単に解除できる優れもの。

ASR コンピュータ内部を改造することにより、ABS を生かしつつ ASR のみをカットする本製品は、500E の大パワーを後輪に余すところなく伝えることが可能になるから、アクセル操作による姿勢変化の自由度が飛躍的に増し、腕自慢のドライバーが LSD 装着と合わせれば正に「鬼に金棒」となるであろう。これまであったラババスやレンテック製の高価な後付けユニットとは異な

り、ASR ユニットの下取り改造で安価に提供できるというから嬉しい。

次は米国 RMTD 社製、キヤンバー調整式アッパー・マウント。国産でもす

であるピロボル製のそれとは異なり、適度な硬さと静粛性を備えた、硬度 85 度のウレタンブッシュを採用したからベアリング製のものにあり

がちなガタゴト感やノイズ、ハーシュが抑えられ、かつショックの取り付け位置を 500E のものより高くして

あるためストロークも増えるといった

500E オーナーの要望を満たすべく開発されたこれらの製品は、い

ままでの定石であつたバルブボディの改

造、交換と比べて安価な改造成的である。

500E オーナーの要望を満たす

れば、ヘアライン号の塗装作業が完了したらもちろん装着する。その時に改めてインプレッションを行なうので

最後は、1速スタートモジュール。メ

### 国内未公開の米国 500E マニア御用達の逸品



ASR カットオフスイッチは、ユニットの下取り・改造と併せて提供される。日本国内ではスピードジャパンが販売し、取り付け施工は S ファクトリーで行なうべく準備中。

り、ASR ユニットの下取り改造で安価に提供できるというから嬉しい。次は米国 RMTD 社製、キヤンバー調整式アッパー・マウント。国産でもすでにあるピロボル製のそれとは異なり、適度な硬さと静粛性を備えた、硬度 85 度のウレタンブッシュを採用したからベアリング製のものにありがちなガタゴト感やノイズ、ハーシュが抑えられ、かつショックの取り付け位置を 500E のものより高くしてあるためストロークも増えるといった

500E オーナーの要望を満たすべく開発されたこれらの製品は、いままでの定石であつたバルブボディの改造成、交換と比べて安価な改造成的である。

500E オーナーの要望を満たすれば、ヘアライン号の塗装作業が完了したらもちろん装着する。その時に改めてインプレッションを行なうので

